

第1学年チャレンジ学級1組 算数科学習指導案

- 1 単元名 10より おおきい かず
2 指導観

【1学年】

【1学年】

【ともだち】 【10までのかず】	
A児	B・C児
ブロックなどの具体物を数えたり、操作したりしながら10までの数を正しく数えたり、字形が崩れることがあるが数字で表すことができるようになってきている。	ブロックなどの具体物を操作しながら0～10までの数を数えたり、大きさ比べをしたりすることができるようになってきている。



【10よりおおきいかず】	
A児	B・C児
具体物を操作して20までの数を数えたり、並べたりしながら、十進位取り記数法の表し方や数え方を理解できるようにしていく。また、数カードや絵カードを使い、数の並び方や大小関係を調べて、数比べの仕方を理解できるようにする。	具体物を操作して20までの数を数えたり、並べたりしながら、十進位取り記数法の表し方や数え方を理解できるようにしていく。また、数カードや絵カードを使い、数の並び方や大小関係の仕方を理解することができるようにする。さらに数カードや数直線を使い2とび5とびでの数え方やブロックなどの具体物を使いながら、繰り上がり・繰り下がりのない十何+何、十何-何の計算の仕方を考えることができるようにする。 【20よりおおきいかず】 20までの数で学習した十進位取り記数法を用いて20より大きい数の表し方や数え方を理解できるようにする。

3 目標

A児	B・C・D児
<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体物を操作し20までの数を数えたり、読んだりできる。(知識及び技能理解) ○ 数カードや具体物を使いながら、数の順序や大小比較の方法を考え、それを日常生活に生かすことができる。 (思考力・判断力・表現力等) ○ 学んだことを生かし、身の回りにあるものを進んで数えたり、数に表そうしたりすることができる。(学びに向かう力・人間性等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体物を操作しながら、20までの数を数えたり、読んだりすることや繰り上がりのない十何+何、繰り下がりのない十何-何の計算ができる。(知識及び技能理解) ○ 数カードや数直線を用いながら十進位取り記数法の考えに気付くことができる。 (思考力・判断力・表現力) ○ 学んだことを生かし、身の回りにあるものを進んで数え、数に表そうとすることができる。(学びに向かう力・人間性等)

4 単元計画 (10時間)

A児	B・C・D児
<ul style="list-style-type: none"> (1) 10までの数の振り返り、学習の見通しを持つ。…① (2) 具体物を操作しながら10より大きい数の数え方や表し方・順序を理解する。…⑥ (本時4/10) (3) 大きさ比べゲームをして20までの数の大小比較の仕方を理解する。…② (4) 学習したことを生かしてお買い物ゲームをする。…① 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 10までの数の振り返り、学習の見通しを持つ。…① (2) 具体物を操作しながら10より大きい数の数え方や表し方・順序を理解する。…⑤ (本時4/10) (3) 大きさ比べゲームをして20までの数の大小比較の仕方を理解する。…① (4) 20までの数の範囲での繰り上がり、繰り下がりのないたし算、ひき算の計算をする。…② (5) 学習したことを生かしてお買い物ゲームをする。…①

5 本時 平成30年 10月 22日 (月) 3校時

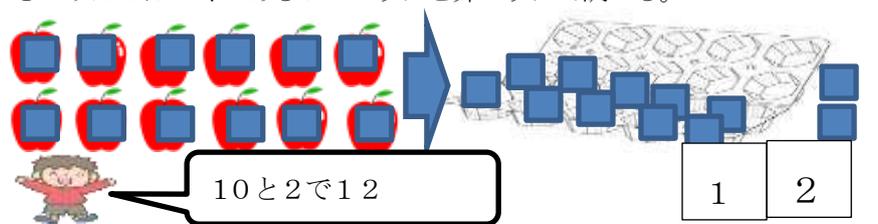
於 チャレンジ1教室

6 主眼

A児	B・C・D児
<ul style="list-style-type: none"> ○ 10のまとまりをつくり数を数えることができる。 ○ 10といくつで数え方を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10のまとまりを作る方法や2とび、5とびで数を数えることができる。 ○ 数え方の工夫を説明することができる。

7 準備 位取り表、絵カード、学習プリント、ブロック、卵パック

8 本時の過程 (4/10時間)

	学習活動と内容	主な支援
つかむ	<p>【問題を見いだす活動】</p> <p>1 今までタイムを行い、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ りんごはいくつあるかブロックと卵パックで調べる。  <p>○ ブロックなしで、数を数えるためにはどうしたらいいか考える。</p>  <p>(めあて) かずのかぞえかたの くふうを みつけよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の見通しを持たせるために、前時に学習したブロックと卵パックをつかって10のまとまりをつくらせて数の数え方振り返らせる。 ○ 位をそろえて書くことができるように位取り表の中に数字を書かせる。 ○ 目印を入れて数えることを想起させるために10までの数を数えるときにどうしていたかを考えさせる。
	<p>A児 ☆主な支援</p>	<p>B・C・D児 ☆主な支援</p>
さぐ	<p>2 見通しをもち、数の数え方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 数の数え方を提示し、見通しを持つ。 ・ 10のまとまりを作り10といくつで数を数える。 ○ 見通しをもとに数を数える。 ☆ 10のかたまりを意識させるために、1, 2...10と数えさせた後10こを赤鉛筆で囲ませる。 <p>【考えを表現し伝え合う活動】</p> <p>3 数え方を交流し、数の数え方を定着させる。</p>  <p>☆ 数え方を定着させるために、拡大した図を使ってみんなの前で数えさせる。</p> <p>【学んだことを活用する活動】</p>	<p>2 見通しをもち、数の数え方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 数の数え方を提示し、見通しを持つ。 ・ 10のまとまりを作り10といくつで数を数える。 ・ 2とびで数を数える。 ○ 見通しをもとに数を数える。 ☆ 2こずつ囲みやすいような挿絵にする。 <p>【考えを表現し伝え合う活動】</p> <p>3 数え方を交流し、数の数え方を定着させる。</p>  <p>2, 4, 6, 8, 10, 12, 14</p> <p>☆ 数え方を定着させるために、拡大した図を使ってみんなの前で数えさせる。</p> <p>【学んだことを活用する活動】</p>
生かす	<p>4 まとめをおこない チャレンジタイム取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時学習のまとめをする。 <p>10のまとまりをつくと かずをかぞえることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ チャレンジタイムに取り組む 	

授業仮説：
 10のまとまりをつくり数の数え方をブロックや図を用いて表現し伝え合う活動を位置付ければ、正しく数を数えることができるであろう。

学習活動	成果	課題
1 今までタイムを行い、本時のめあてをつかむ。		
2 見通しをもとにして数え方を考える。		
3 友達と数の数え方を交流する。		
4 本時のまとめを行い、チャレンジタイムを行う。		